

第32号

平成24年3月

S.P.V つうしん

●スペースパークボランティアの会●

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201

今年一年を振り返って科学グループ



今年度も我々S.P.V科学グループは震災もなんのその、精力的に活動しました。

【科学館カウンター】ニヶ月おきに化学工作メニューを開発。バランストポにブービー笛、くるくるタワー、コケッココップ、偏光万華鏡。原理もしっかり、力学に音と振動、光と様々です。さらにサイエンスフェスティバルや鉄道フェスティバルでは特別工作も。延べ300名弱のメンバーが活動、来館



者さんもおもいの顔、新しい顔、間近に接してきました。

【出張活動】車に材料を乗せて大成、桃見台、安積、中町商店街、富田西、ニコニコ子ども館を

巡りました。例年は年間14カ所ほど巡ってきましたが、残念ながら震災の影響が強く、公民館活動が大きく減ってしまいました。次年度はまたみなさんの近所にもお邪魔していきたい、改めてまた呼んでいただきたいと思います。

【自主研修】一方で我々の自主企画、研修ツアーと勉強会は盛況でした。

7月にはムシテック、11月に復興まなないアクアマリンふくしまへ。実験や提供



方法を学ぶとともに同志ボランティアとの交流もできました。

【勉強会】メンバーが講師となり、4月に「わかりやすい水環境」と題して水道と下水のメカニズム、郡山と猪苗代湖の水環境について、1月に「改めて知るノーベル賞」と題してノーベル賞の創立と意味、受賞会、日本人受賞者とその研究について学びました。さらに、それぞれ大人の折り紙と題して「新聞紙バッグ」や「節分」にトライしました。3月にはS.P.V全体企画の「郡山宿の形成と発展」に参加しました。

2012年度も『科学と工作の楽しさや知恵を届けながら』、『我々自身が学びあい、楽しみあいながら』活動していきたいと思います。



(熊本 隆之)

スペースパークボランティア募集! ※無償参加可能な方。他応募条件有り。詳しくはお問い合わせください。

郡山市ふれあい科学館スペースパークでは生涯学習ボランティアを募集しています。現在、当館では幅広い年代層のボランティアの方々が活躍しています。私たちと一緒に楽しんでみませんか。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

問合せ先:郡山市ふれあい科学館 管理課

TEL024-936-0201

天文グループ 今年度を振り返って!

23年度に初めてS.P.Vの一員に加えていただき、震災のため7月からの活動でしたが、仕事の合間に次のとおり活動させていただきました。

科学館催事は、駅前観望会2日(1日は曇天、望遠鏡整備)、はやぶさカプセル展示補助1日でした。

個人活動は、星空案内出前講座3日(原発避難者)、星空の宅配便補助1日(原発避難者)、星空観望会1日(仙台市)でした。

日数こそ少ないのですが、それぞれ充実した活動内容で、中でも、「はやぶさカプセル展示」と始めて個人開催した「星空案内出前講座」は、別格でした。

はやぶさカプセルは、目の当たりにして、別次元の感動があり自ら楽しんでしまいました。

星空案内は、原発トラブルにより避難されている方々に、一時で

2011年は、3月11日の東日本大震災とそれに伴う東京電力の放射線被害に尽きるのではないのでしょうか。当時ライフラインは寸断され、放射線を心配しながらも、外に出て水や食料を手に入れるなど、先の見えない不安でいっぱいだったものです。

その気持ちを和らげてくれたのは、ふれあい科学館の再開でした。

科学館スタッフの方々もそれぞれ被害を受けたにも関わらず、笑顔で接して下さいました。ボランティア同士では各自の被害の様子を報告しあい、その大きさに驚いたものでした。



も辛い日常を忘れてもらおうと思いい立ち、一人で始めたものでした。

企業への協力要請。避難先事業所及び避難者代表との交渉。プロジェクト等の調達など、ネームバリューのない個人が、SPV、星のソムリエ、職業上の繋がりなどを駆使して開催にこぎつけ、娘の協力を得て冷や汗をかきながら開催できたのも、それはそれで楽しい思い出です。

しかし、どの活動でも、星を見て目を輝かせて感動している姿、話を聞いて星空に思いを馳せ「今晚、空を見てみるよ!」と言ってくれる人など、即、反応が返ってくる楽しい活動でした。

これからも、「自ら楽しみながら」をモットーにできる範囲で活動していけたらと思っている今日この頃です。(天野 章弘)

そのような中、さらに希望を与えてくれたのが、2011年7月27日～31日に行われた小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセル展示でした。カプセルの他に、プロジェクトに関わった企業の展示もあり、会津大学をはじめ、多くの福島の企業が携わっていることを知りました。また私もボランティアとして参加し、幅広い年齢のお客様と接することができました。

普段の天文ボランティアの活動は外に出て観望会を開くことが中心となりますが、残念なことに今年はそれも制限されることが多く、活動の機会が減りました。しかしこういう時だからこそ、夜空を見上げる機会を増やすことが出来ればと思っています。

またそれと共に、皆様が一日でも早く、今までと変わらぬ生活が送れるようになることを願っています。(田村 麗香)



鉄道ジオラマグループ

健康長寿

いつの間にか、私も八十路の坂に辿り着き三年を過ぎて参りました。

現在のところ心身共に何ら不自由を覚えることはありませんが、動作に置いて敏捷さがなくなったように感じるものが多いものです。特に、冬には外出の機会も少なくなり在宅の時間が多くなりがちで、運動不足のため体調に違和感を生じることもあります。

しかし、科学館での活動へは、おもに徒歩で通っているため、最近は大分調子がよく毎日が順調に経過しております。

また、立春が過ぎ次第に気温も上昇してくれば、新しいスポーツ

が出来るのでより体が軽くなりそうです。特に三年前からグラウンドゴルフを朝九時から昼まで週三回練習していますが、それが心の張り合いと

なり逆に雨の日などは憂うつです。上手になるに越したことはないのですが、健康維持のための運動であり注意を払っております。

体を動かすこともさることながら、健康長寿の五原則「快眠、快食、快通、快働、快笑」なるものも実行し、今日一日を大切にしてい有意義な生活を送るように心掛けています。(国分 辰夫)



東北新幹線の歴史

毎日休むことなく走行する東北新幹線。その中でも昨年から走行している最新の車両、「はやぶさ」を見ていると時代の流れを感じます。ここで、東京から青森までの東北本線と新幹線の歴史について紹介します。

明治24年(1891年)、上野～青森間が開通、所要時間は26時間でした。

時代は経過し、昭和57年(1982年)に東北新幹線の大宮～盛岡間が開通、平成14年

(2002年)12月には、盛岡～八戸間が、そして平成23年3月(2011年)、「はやぶさ」が登場し、29年の歳月を経て、東北新幹線は東京から新青森まで一本のレールで結ばれたのです。明治24年の東北本線開通から121年目でした。所要時間も26時間から約3時間に短縮されました。

さらに今年の3月には、その新型車両E5系「はやぶさ」が増発され、日本列島の大動脈として期待されているところです。

「はやぶさ」の最高速度は275キロ、車両は10両編成です。運賃は、東京～新青森間が、通常期の普通車で大人16,870円です。「はやぶさ」は郡山駅には停車しませんが、22階から眺めることが出来ます。(兼谷 豪)





案内サービスグループ「雑念」から「真実」が見えだせるかな?!

昨年10月1日、ふれあい科学館開館10周年記念式典が行われ、各班とも見事な出し物を披露し、大いに賑わいました。

さらに、今年2月3日の展望ロビー入館者300万人達成記念セレモニーでは、市長と300万人目の来館者によりくす玉が割られ、家族連れのお客様は驚き喜び合っていました。

そんな中、我が案内係はどうでしょうか。他のボランティアが、夜の活動も多い割に人数が増えてきているのに比べ、案内係は年々減少しており、毎年応募される同志も減ってきています。

それは、案内係は独自で活動を進めなくてはならないため、まるで「ご勝手に」と言われているようで、皆がやる気を無くしてしまうことが原因の一つだと思われます。そのためか、活動勤務日誌にも「他の班の手伝いをした」など、皆と同様のことしか書かれていません。これからは、どなたかが日誌をチェックして下されば、皆の励みにもなるのではないかと思います。歳を取っても上司に褒められて怒る人はおりませんし、むしろ

嬉しいもので“ファイト”すら湧いて仕事にプラスになるのではないのでしょうか。

私もボランティアをはじめて満5年が経ち、こんなことが耳に入りました。紙芝居の弁士を「やってみないか?」と言って子供さんをお願いしたら、その子が楽しく演じてくれたのを館長がご覧になり、その子にご褒美を贈られたそうです。後日、本人に確認すると、「勿論!」と言って微笑んでいました。

ところで、昨年末ボランティア活動の帰り自転車に足を取られて転倒してしまい、脛骨剥離骨折をして2ヶ月も休んでしまいました。女房は、「この際やめたら?」と声を荒げておりましたが、私は「100歳までやろうと思ってるんだ!」と言っております。「みんなに迷惑をかける人は後進に譲って下さい。」という声が掛かるまでは続けたいと思っています。(金山 一長)



皆さんとのふれあい



震災後、ボランティアになかなか参加できずにいましたが、今回の出張活動を機会に、科学館の担当の方や案内ボランティアの先輩の皆さんと久々

に再会することができました。

昨年に引き続き、今年ももちつき大会に呼んで下さったのは、こおりやま保育所保護者会ネットワークの方々です。会場には、たくさん子どもたちとその保護者の方々が集まっていました。

オープニングは子供たちに大人気の「マル・マル・モリ・モリ!」です。女性ボランティアがステージに上がり踊りましたが、終始、フロアーの可愛い“子ども先生”にリードして頂くという、何とも微笑ましい光景になりました。

そのあと昔遊びと工作を楽しんでもらい、科学工作の“コケ

ッココップ”は、紙コップの側面に、「とさか」と「くちばし」それに「はね」の型紙を切って接着し、底に通してあるたこ糸を引っ張るという簡単な仕組みですが、引っ張り方を工夫するというような鳴き声を出すことができるので、このコーナーはなかなか盛況でした。

お昼には杵でついたばかりのおもちをご馳走になり、子どもたちもお腹がいっぱいになったところで、いよいよ当ボランティアのお家芸ともいえる紙芝居の始まりです。ベテランの熱演に加え英語の読み聞かせや手作りの紙芝居などを準備し、一段と進化した内容でご覧いただきました。

エンディングには、郡山市のキャラクター、「かくとくん」が登場し、会場は笑顔と歓声で盛り上がりました。一緒に記念撮影もして楽しい一日となりました。

朝のうちにはひどかった地吹雪もいつの間にかおさまり、おだやかな日差しの中皆さんとのふれあいに心を温めながら、帰途につきました。(武田)

天ボラの

知識の泉 24

●3つの金

オリンピックイヤーの今年、天文現象も金に注目です。1つ目の金は、5月21日の金環日食。太陽-月-地球が一直線に並び月が太陽を覆い隠す現象ですが、見かけの月の大きさが太陽よりわずかに小さいため、月の周囲に太陽がはみ出して、輝くリング状を出現させます。郡山市に北限界線があり、場所によっては部分日食になり

ます。2つ目の金は、6月6日の金星の太陽面通過。次回はなんと2117年ですから見逃せません。3つ目の金は8月14日の金星食。-4.3等の明るい金星が細い月に隠されます。こちらも23年ぶりという珍しい現象です。1つ目と2つ目は、日食グラス等を使用して安全に観察してくださいね!

内田博士の魂の叫び!! ②6 『コミュニケーションの重要性』

電子マネーが普及して久しい。クレジットカードや定期券にICチップが内蔵されたタイプから携帯電話にその機能を有するものまで、今や生活必需品と言っても過言ではない。

レジで財布の小銭をあさる煩わしさが省ける反面、金銭感覚に若干疎くなってついつい使いすぎてしまう一面もある。朝のコンビニはとても忙しい。少額の買い物客がレジに行列を作る。そして電子マネーで会計を済ませるわけだから行列は瞬間的にスライドする。そんな中、自分の会計の際に財布の小銭をあさろうものなら後方から舌打ちが聞こえ、いたたまれない疎外感に

包まれてしまう。銀行のATMや駅の券売機でも操作に不慣れな方を目にするがこちらも同様であろう。便利さを追求してくれたおかげで、今の時代、生活する上で不便を感じる事が少なくなった。あったとしても、誰かがめんどく不便さを見つけ出し、対策品をこしらえてしまうから、使い勝手の悪さにずっとストレスを感じていることはまずないのだが、なんとなく寂しさを感じてしまう今日このごろ。コミュニケーションの重要性をますます実感する。相手が人間だろうと機械だろうと。

スペースパークボランティアの会 ボランティア大募集

募集期間／ 2012年3月1日(木)～4月28日(土)まで ※期間外でも随時募集しております。

郡山市ふれあい科学館の「スペースパークボランティアの会」では、「案内サービス」、「鉄道ジオラマ」、「科学」、「天文」のボランティアを大募集します。ぜひ、「みんなの科学館」で一緒に楽しみましょう!

応募条件

- 科学館の活動に興味があり、ボランティア活動への熱意がある方。
- 15歳以上(中学生を除く)で健康な方。
※未成年者は保護者の承諾書が必要となります。
- 無償で参加可能な方。
※昼食代、交通費等の支給はありません。

応募方法

募集チラシの応募ハガキに必要事項を記入し、郵送または、郡山市ふれあい科学館22階インフォメーションカウンターへご持参ください。

★詳しくは、下記までお問い合わせください。

今号のきら星☆さん 案内サービスグループ 古川 末子さん

頭から消えないあの3月11日。天と地が大荒れでしばらくは口癖のように、「地震、また地震…」と言っていた私でした。しかし、案内ボランティアをさせていただいたおかげで、大きな声で挨拶ができ、お客様にも「おはようございます!どちらからいらしたのですか?」と、声をかけて会話ができることが私自身の励みになっています。

私は、人間が大好きで特に子供が大好きです。そんな中、今はテレビゲームばかりで外ではあまり遊べない子供たちと“おはじき”や“あやとり”で遊んでいるといろいろなものを思い出して幸せを感じます。また、私たちが子どもの頃のテレビもない時代が懐かしく感じます。

今は時間のある限り、子供たちとあやとりをして遊んでいます。上手に出来たときには、嬉しそうに「もっと教えて!」とせがまれます。こうして“子どもと時間をもてる幸せ”いつまでも昔遊びで人と人との絆をつないでいっていきたくと心から思っています。

先日、孫が保育所から帰り、「交通安全のお話を聞いてきたよ!」と話してくれました。それは、「はひふへほ」で、【は】しらない、【ろ】ろがない、【ざ】げない、【い】のかげはこわい、【ど】うをあるく!だそうでした。大人も守りたいと思いました。

さらに、先日科学館に初めていらっしたというご夫婦に、私たちボランティアが色々説明したり、お話ししたりして楽しい時間を過ごしました。22階からの素晴らしい景色をご覧いただき「なんだか外国に来たようだ。」と大変喜んでいただきました。その笑顔を見て、ボランティアをしていて本当に良かったなあと思いました。お客様、本当にありがとうございました。またお待ちしております。



S.P.V 活動情報(～6月)

ほかに公民館など市内出張活動を予定

案内サービス “昔懐かし”紙芝居(約15分)

◇随時実演 ☆展望ロビー(北)

鉄道ジオラマ ジオラマショー案内(約20分)

◇11:00～、15:00～、17:00～ ☆展望ロビー(東)

科学 かんたん科学工作ほか

◇土日祝10:00～15:30 ☆21階展示ゾーン入館者対象

天文

天体観望会

- ◇4/28(土) 19:00～20:00 ☆郡山駅西口駅前広場
- ◇5/26(土) 19:00～20:00 ☆郡山駅西口駅前広場
- ◇6/30(土) 19:30～20:30 ☆郡山駅西口駅前広場



※科学館休館日を除く。なお都合により活動が休止となることがありますのでご了承下さい。

★『S.P.Vつうしん』発行予定 第33号 6月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.space-park.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……郡山市ふれあい科学館 TEL024(936)0201まで

編集
あとがき

(隆)春だ!新年度だ!復興だ!プラネタリウムも機器更新!さあ我々もリボン!リスタート!リニューアル!
(国)大震災から一年が経過したが被災地の復興は遅々として進まず。早い復興が待たれる。
(熊)次年度も楽しく活発に活動していきます。新メンバーもたくさん入りますように!
(星)宙(そら)に輝くとびきりの太陽の指輪(リング)楽しみです!晴れますように…!!

